



# 予算決算委員会 報告

令和5年1月29日

# 予算決算委員会とは

---

令和2年11月30日委員会条例で位置づけられた常任委員会。

---

構成 議長を除く、全議員が委員。

---

目的 重要な「予算」と「決算」を連動して審査することにより、議会のチェック機能の向上を図る。

---

# 予算決算委員会の審査手法

---

- ① 予算決算委員会に、「総務文教分科会」「福祉保健分科会」「市民経済分科会」「都市建設分科会」を設置。  
「予算」と「決算」を、同じ委員が審査をする。
- ② 決算審査において各分科会で、事業を選定し、議会から市長へ提言を行う。

# 令和3年度 決算の審査結果

会 計 名	歳 入	歳 出	審査結果
■一般会計	1,056億5,161万円	989億2,693万円	認 定
■特別会計			
国民健康保険	189億6,190万円	181億6,442万円	認 定
後期高齢者医療	22億3,698万円	22億2,935万円	認 定
作岡財産区	7万円	890円	認 定
公平委員会	182万円	114万円	認 定
介護保険事業	143億5,243万円	138億422万円	認 定
■下水道事業会計			
収益的收入及び支出	107億5,128万円	103億 559万円	認 定
資本的收入及び支出	52億1,176万円	61億4,756万円	認 定
■水道事業会計			
収益的收入及び支出	60億8,274万円	50億6,319万円	認 定
資本的收入及び支出	17億5,801万円	35億9,905万円	認 定

# 審査の論点

---

## 反対討論

1. 一般会計  
敬老祝金等の高齢者施策が削減。  
当初の予算案にも反対のため、決算にも反対する。
2. 後期高齢者  
医療  
物価高騰・年金目減りの状況下、  
利用者負担増加のため、制度変更を。
3. 介護保険事業  
利用料金上昇・サービスが低下傾向。  
利用者が安心し、働く人の意欲向上を。

## 賛成討論

- 必要な事業を着実に実施した。  
多様な市民ニーズに積極的に対応した。  
財政調整基金の積み増しを評価する。
- 収入減少が見込まれる方に保険料  
を減免、収納率向上にも努めた。
- 地域包括システムの進化、計画を推進。  
安心の環境構築と制度の運営を評価。

# 来年度への取り組みについて「提言」を提出



令和4年10月6日に議会から市長に「提言」を提出

分科会	選定事業
総務文教	財政調整基金 不登校児童生徒学習支援事業
福祉保健	高齢者タクシー運賃助成事業
市民経済	低炭素推進事業
都市建設	シェアサイクル実証実験事業 周辺市街地活性化事業 空き家対策補助事業



# 総務文教委員会報告

令和5年1月29日

1

# メンバー紹介

2



木村 修寿  
きむら しゅうじ

総務文教委員長  
自民党政清クラブ



黒田 健祐  
くろだ けんすけ

総務文教副委員長  
つくば自民党



中村 重雄  
なかむら しげお

創生クラブ



山中 真弓  
やまなか まゆみ

日本共産党  
つくば市議団



小森谷 さやか  
こもりや さやか

つくば・市民  
ネットワーク



木村 清隆  
きむら きよたか

清郷会



小野 泰宏  
おの やすひろ

公明党つくば





行政、財政、教育及び他の委員会に属さない事項の審査及び調査を行います。

2023年1月より、文教福祉委員会から**教育部門**が切り離され、総務委員会に移され**総務文教委員会**となりました。



# 財政調整基金について



## 事業の目的

災害により生じた経費、市債の繰上償還に要する経費又は緊急に実施することが必要となった大規模な建設事業の経費、その他やむを得ない理由により生じた経費の財源に充てることで、将来にわたる市財政の健全な運営に資するために設置されたつくば市財政調整基金へ積立てを行う事業であります。



## 現在の財政調整基金の概要

令和3年度末時点で、残高が42億2,407万円となり、標準財政規模に対する財政調整基金の割合は、約8.2%。

標準財政規模とは

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額（総務省HP\_平成30年版地方財政白書より引用）

つくば市の令和3年度の標準財政規模

514億7208万7千円（令和3年度決算カードより）

議論の背景には・・・。

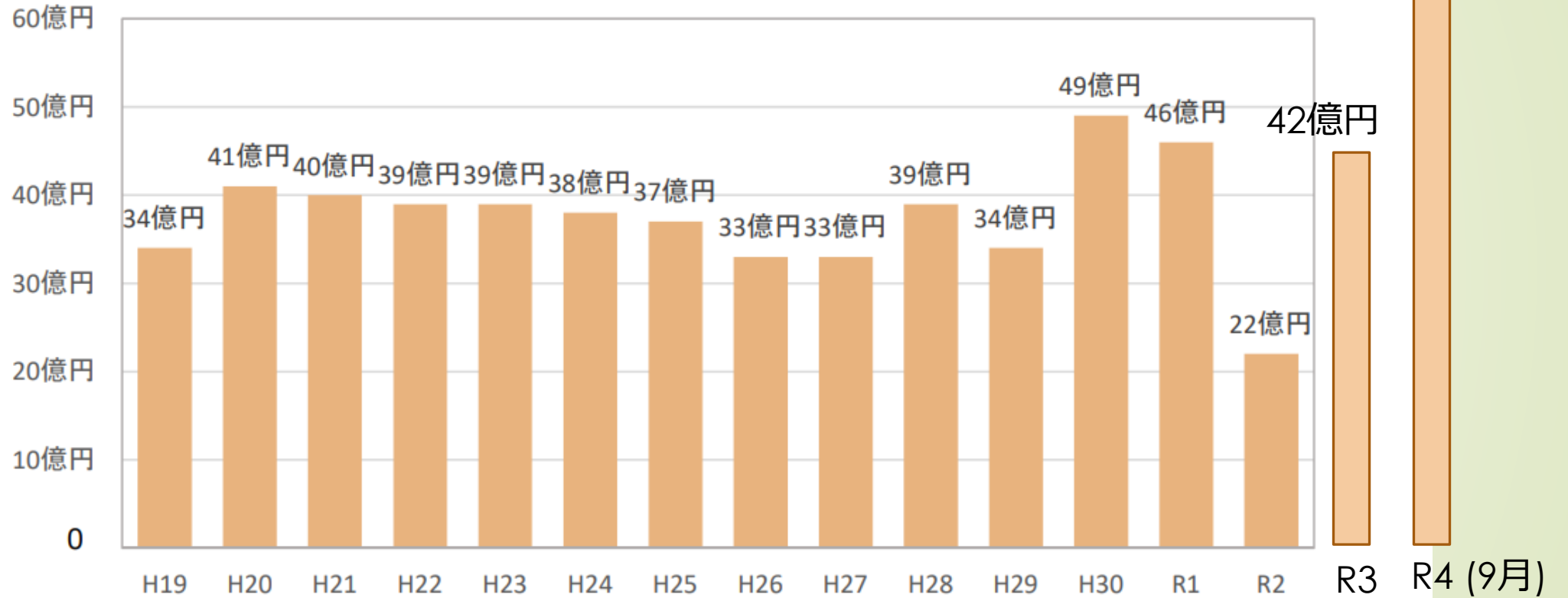


7

## 高エネルギー南側未利用地の跡地の売却

高エネルギー南側未利用地の売却により、結果的に約  
117億円の財政調整基金が積み上がった。  
(標準財政規模の20%超)

## 貯金（財政調整基金）



出典：「つくば市の台所事情（令和2年度決算）」

# 提言内容（総務委員会 財政調整基金）



9

## 1 財政調整基金の考え方

標準財政規模の1割を目安。

## 2 長寿命化計画（個別施設計画）の早期策定

## 3 予算編成の考え方

(1) EBPMの考え方に沿って行うこと。

(2) EBPMで数値化されない分野（芸術・文化・環境）への予算配分にも配慮。





# 不登校児童生徒学習支援事業について



## 不登校児童生徒の現状について

つくば市の不登校児童生徒は**増加傾向にある**。

不登校児童生徒数の割合

小学生は 1.57%、中学生は 5.45%。 (2021年)

小学生が 0.35%、中学生が 2.28%。 (2013年)

**小学生で 1.22 ポイント、中学生で 3.17 ポイント  
増加している。**

令和 3 年度末の不登校児童生徒数は **592 人**  
(小学校 243 人、中学校 349 人)

## 不登校に関する児童生徒支援検討会議

令和2年度、3年度に実施したむすびつくばの協働事業の検証と、今後の不登校児童生徒支援のあり方を検討しています。令和4年度は13回開催（1月29日時点）しております。

# 提言内容（文教福祉委員会 不登校児童生徒学習支援事業）



- 「協働事業」の検証
- 民間委託事業への執行部の関わり方を明確化。
- 校内フリースクールの全中学校での実施スケジュール策定。  
小学生の居場所の確保。
- 民間フリースクールに通う世帯への負担軽減。



- アウトリーチの検討。
- つくしの広場、むすびつくば、ここにご広場、その他多様な学びの場の周知。
- 市、教育局及び教育相談センターのホームページを分かり易くする。
- 保護者が悩みを打ち明け、情報共有できる場の提供

# 不登校児童生徒への支援策

## (1) 学校内における支援

- ① 学級担任や養護教諭を中心とした教員による教育相談の実施
- ② スクールカウンセラーによる教育相談
- ③ 校内フリースクールの整備

## (2) 学校外における支援

- ① つくば市教育相談センターでの面談
- ② 学級担任による家庭訪問・スクールソーシャルワーカーによる訪問相談
- ③ 公設の不登校児童生徒支援施設の設置  
(むすびつくば、ここにご広場、つくしの広場)
- ④ 民間の不登校児童生徒支援施設の運営者への補助 (新規)
- ⑤ 不登校児童生徒の保護者への補助 (新規)
- ⑥ 保護者に対する相談支援
- ⑦ 家庭にいる児童生徒への支援

# 福祉保健委員会

福祉、保健衛生などに関する事項の審査及び調査を行います。



委員長  
長塚 俊宏  
つくば自民党



副委員長  
浜中 勝美  
公明党つくば



小村 政文  
創生クラブ



川久保 皆実  
つくば  
チェンジチャレンジ



あさの えくこ  
つくば  
市民ネットワーク



塚本 洋二  
自民党政清クラブ

## 集中審議

# 高齢者タクシー運賃助成事業について

### 事業内容

外出するときに利用するタクシー運賃の一部を助成します。  
助成券は取扱事業所で利用できます。

### 給付額

500円券×24枚  
※一回の乗車で3枚（1,500円分）までの利用が可能です。

### 対象者

- ① 65歳以上のひとり暮らしの方
  - ② 70歳以上の高齢者だけでお住まいの方
  - ③ 70歳以上で市民税非課税世帯の方
- ※住民基本台帳上で65歳以上の単身世帯又は70歳以上の高齢者世帯の方も対象になります。
- ※自家用車を運転している方は対象になりません。
- ※4月1日から5月31日までの申請については前年度の課税状況を基に審査しており、6月以降の申請については当該年度の課税状況を基に審査しております。

つくば市議会提言書  
令和4年10月4日 予算決算委員会

※事業名 高齢者タクシー運賃助成事業

※事業概要 高齢者の外出支援の拡大をはかるため、現在行っているタクシー運賃助成の対象要件を緩和した。

※提言内容

・高齢者の外出手段の観点から、他の交通手段も含め。総合的に連携できるように調査研究を進める必要がある。その為にも高齢者タクシー運賃助成事業については利用先やニーズの把握に努めること。



## 高齢者タクシー運賃助成事業

- 委員からの意見①

\*つくタク事業も病院関係とかに利用が多いが、予約をとるのも大変と聞く。同じタクシーを使う事業なので、利便性を高めていくために、事業の成果や課題を共有し合って知恵を出し合うとかもいいのかなと思う。

\*タクシー乗り降りするとき、膝や腰が悪いとか、御苦労される方もいらっしゃると思うので、対応をお願いしたい。

\*日中独居の件が解決していない。例えば、同居している子どもの勤務証明書みたいなものを出せば対象とするなど、本当に昼間が高齢者が独居であることを確認できれば良いのではないか。



## 高齢者タクシー運賃助成事業

- 委員からの意見②

- \* 65歳以上全員を対象にしてしまうのはどうか。予算は、3倍ぐらいで足りるのではないか。

- \* 体が悪くて病院に毎月行かなくちゃいけない人だと、全然足りない。収入要件をもうちょっと細かくしても、もっと上限を上げて欲しい。必要なところにちょっと多め、上限高く設定出来ないか。

- \* 全員に早めに配っていただくと免許を持っている人も返納するという動機付けになるのでは。60代の方々から言われるのは、つくタクに乗りたくても乗り方が分からないと。講習会を開いて欲しいという声は多い。

- \* 使いやすくする、つくタクとのすみ分けがなかなか分かりにくいので、今回、もっと使いやすくするためにはどうしたらよいのだろうというところの興味が、文教福祉委員会の中で一致したので、テーマに挙っている。総合交通政策課との連携も含め、後押し出来るような提言をまとめられたらいいなと思う。

## 高齢者タクシー運賃助成事業

### ① 65歳以上のひとり暮らしの方

令和2年4月1日 9,243人

令和3年4月1日 9,827人

令和4年4月1日 10,235人

### ② 70歳以上の高齢者だけでお住まいの方

令和4年4月1日 およそ12,540人

※参考値

#### 65歳以上の高齢者夫婦の世帯数

令和2年 7,951世帯 (うち、75歳以上の高齢者夫婦世帯 2,604世帯)

令和3年 8,303世帯 (うち、75歳以上の高齢者夫婦世帯 2,752世帯)

## 高齢者タクシー運賃助成事業

### ・対象者・補助額遍歴

時 期	補 助 対 象 要 件
平成21年4月	初乗り運賃(710円程度)×24枚でスタート
平成23年4月	初乗り運賃(710円程度)×12枚 ※つくバス・つくタク事業開始に伴い、枚数減
令和元年度	助成金を1枚500円、年間18枚、1回の利用枚数を2枚までに変更
令和 3年度	65歳未満の子ども世帯等と同居していても、住民票上別世帯であり、①、②の要件いずれか該当すれば対象
令和 4年度	1枚500円、年間18枚から24枚、1回の利用枚数を2枚から3枚に変更

## 高齢者タクシー運賃助成事業

### 執行部との主なやり取り

- \* 福祉有償運送には使えないが、介護タクシーには使用可能。
- \* 日中独居の方の問題に解決していない。
- \* タクシーの利用先は不明。
- \* 利用率は。大半43%から46%ぐらいのあいだで推移している。
- \* 交付人数が今年の8月末の速報値2145人で、既に令和3年度の交付人数(2128人)を上回っている状況。
- \* 利用者利用枚数についても、同時期の令和3年度8月と今年の8月で比較すると、昨年が9141に対し、今年が1万3546ということでかなり増加している状況。

# 福祉保健委員会報告

## 終わり

\* 報告は令和4年12月27日の定例議会にて委員会構成が変わる前の「文教福祉委員会」での取り組みをまとめました。

# 市民経済委員会 報告

---

令和5年1月29日

# メンバー紹介



高野 文男

- ・ 委員長
- ・ 創生クラブ



川村 直子

- ・ 副委員長
- ・ つくば市民ネットワーク



神谷 大蔵

- ・ つくば自民党



飯岡 宏之

- ・ 自民党  
政清クラブ



橋本 佳子

- ・ 日本共産党  
つくば市議団



金子 和雄

- ・ 新社会党つくば



市民經濟委員會

市民經濟分科會  
(預算決算委員會)

担当部局

1. 市民部
2. 經濟部
3. 生活環境部
4. 消防本部
5. 農業委員會  
事務局

**集中審議事項**



**令和3年度**

**つくば市低炭素推進補助事業**

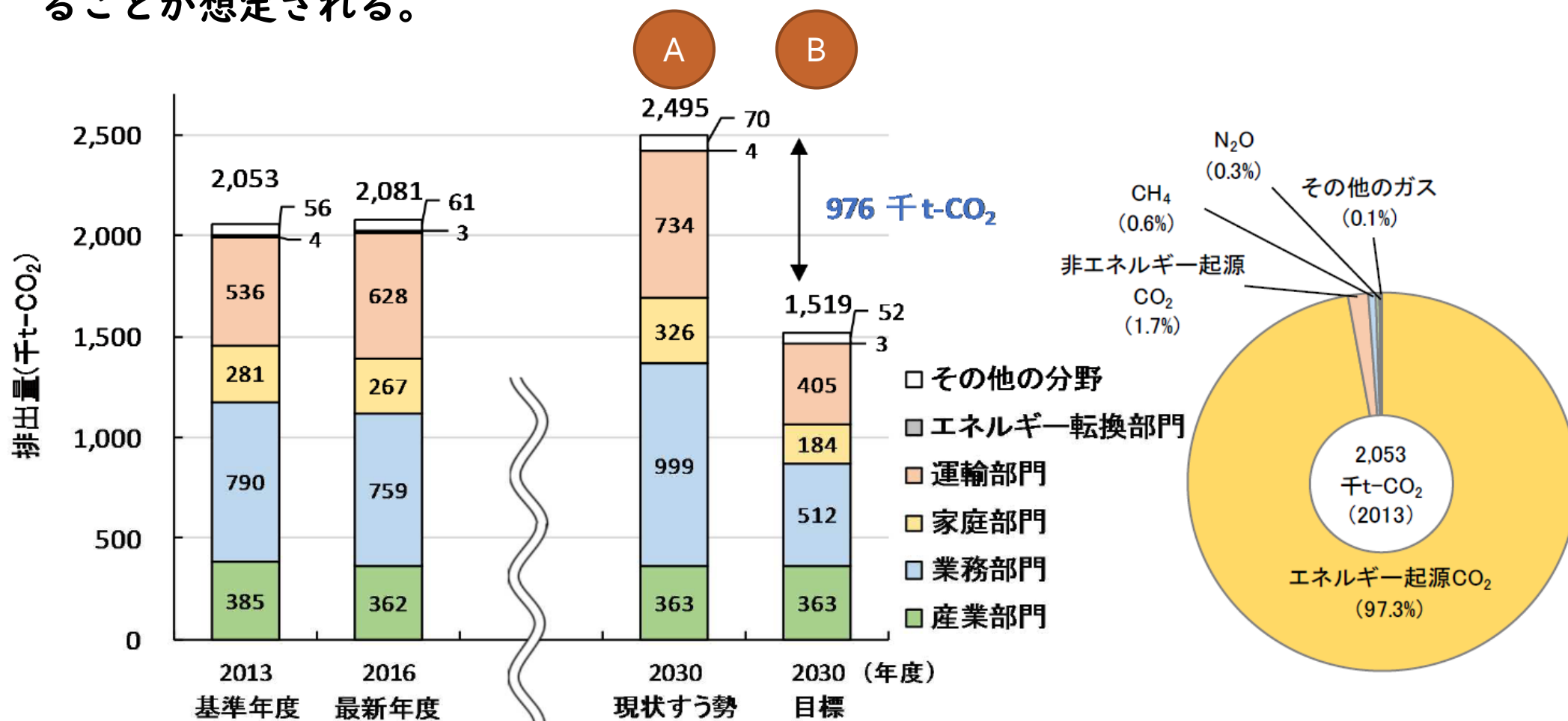


# つくば市低炭素推進補助事業とは！

低炭素な街づくりを推進し温室ガスの排出削減を図るため、低炭素住宅、機器等に対し、補助を実施する事業！

# つくば市の温室効果ガス排出量

今後、何も対策をしないまま推移した場合、令和12年度（2030年度）の目標である1,591千t-CO<sub>2</sub>に対し、976千t-CO<sub>2</sub> 程度上回る2,495千t-CO<sub>2</sub> の排出量となることが想定される。



※四捨五入の関係で合計値が一致しない場合があります。

出典：「【概要版】つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」

# 委員会からの質問と担当部からの回答 ①



「つくば市地球温暖化対策実行計画」

2018年度時点における  
各部門での排出量削減の進捗状況について  
伺います！

産業	部門… + 8.5%
業務	部門… - 20.5%
家庭	部門… - 7%
運輸	部門… - 4.1%
エネルギー転換	部門… - 33.4%



# 委員会からの質問と担当部からの回答 ②



温室効果ガス排出量の  
中期目標の達成の見通しと  
今後の対策について伺います！

(2030年度に2013年度比で26%削減目標)

2013年度と比較した2018年度は7.6%の  
削減状況でした。今後は人口増など社会情勢に即し  
臨機応変に計画を見直しながら実行していきます。





# 委員会からの質問と担当部からの回答 ③



既存の家屋に住んでいる方々が省エネで暮らしていけるよう  
専門家がアドバイスするようなシステムを構築するといった  
新しい考えはあるか？

「クリーンエネルギー機器設置補助」は新築の場合だけに  
限らない補助なので、今後その点はPRしたいこと。  
専門家のアドバイスは有効な考えなので、今後検討したい。



# 委員会からの質問と担当部からの回答 ④



補助金を周知するための今後の対応と、  
どのように市民が参加しやすい  
補助制度にしていくのか伺います！

市民に有益な補助制度と認識していますが、  
専門用語も多く分かりにくいとお声もあります。  
分かりやすくPRしていくことが重要だと考えています。





# 提言内容



本事業の既存の補助制度により、2030年度の温室効果ガスの削減目標に向けて、順調に進んでいるようである。そこで、2030年度の削減目標を確実に達成するため、既存の補助制度の周知に力を入れ、さらに周知により申請件数が増えた場合の追加の財源確保に努めるべきである。なお、周知については専門用語が多い等、補助の内容がわかりにくいという声が上がっていることから、補助対象の低炭素住宅、機器等の内容が市民に理解しやすいような工夫をしていただきたい。

また、既存の補助制度よりもさらに市民が参画しやすく、かつ温室効果ガスの削減効果が高いものがないか引き続き調査研究していただきたい。

# 都市建設委員会



皆川幸枝 委員長



宮本達也 副委員長



小久保貴史 委員



鈴木富士雄 委員



塩田 尚 委員



久保谷孝夫 委員

## 審査・調査事項

土木  
建築



都市計画

上水道

下水道など



令和3年度  
予算決算を  
通しての  
都市建設委員会  
からの  
事業提言

- ▶ シェアサイクル実証実験事業
- ▶ 空き家対策補助事業
- ▶ 周辺市街地活性化事業

以上3項目の事業評価と今後の事業展開  
について提言を提出



## シェアサイクル 実証実験事業

▷期間と予算：  
R3～R6年9月まで(3年間)  
2291万円

▷初期費用：829万円

▷維持管理費：  
490万円/年(約40万円/月)  
この内国庫補助金20万円/月

### ○シェアサイクルの利用実績

- R3. 10月～ 900～1000件/月
- 料金収入：20万円/月 前後
- 台数：50台 ポート数：22
- 週1回委託業者にポート間の自転車台数を調整
- アプリ登録者：約5000人

### ○R4年度以降の利用実績

- R4年5月に4台追加、10月に2台追加
- R4年8月2000件/月
- 料金収入40万円/月以上



## シェアサイクル 実証実験事業に ついての提言

- シェアサイクルが、公共交通の一角を担うよう、利用者の声を反映しながら、積極的な事業推進を望む。
- 利用料のみで管理運営行うことはむずかしいと考えるため、ポートや自転車の車輪カバーなどへの広告料を収入に加えることも必要と考える。



車輪カバー



# 周辺市街地 活性化事業に ついて



## ○周辺8市街地について

- 北条、小田、大曾根、吉沼、上郷、栄、谷田部、高見原の8地区で地域活性化のために様々な取組みを行ってきている

## ○課題

- 後継者が少ない
- 取組みを発表、PRする場が少ない
- 他地域の活性化団体の取組みがわからない。交流する場がない



# 周辺市街地 活性化事業の 取組み

- 吉沼・栄の地域団体が市民文化祭に参加
- 谷田部でもオータムフェアを開催
- 8つの地域団体がコンペに参加

つくばR8 地域活性化プラン コンペティション2020

歴史や自然豊かなくつばのまちを  
より心地よく、より楽しくする活性化プランを募集!

募集期間 令和2年 4/1(水)～7/10(金)

募集額 3/2(月)～6/30(水)

コロナ禍克服熱狂「町民芝居と和提灯」  
—手作り不滅の町おこしムーブメント—

伊賀七 町民芝居 伊賀七座楽

谷田部の新拠点よりあいや 伊賀七座を 盛り上げる!

わわわ健康パーティー  
音楽舞台ライブLP販賣会  
伊賀七からくり人形登場か?  
新たな伊賀七BRAND登場か?

BOND-JOB

地域体験(JOB)・イベント・写真を通し、  
地域を繋ぐ(BOND)プラン

なぜ上郷? ターゲット

JOB: 地元産業と小中学生がマッチングし、地域体験を通して交流を創出し!

MARCHE: マルシェ・地元産物が出店し、小中学生が新たな体験を創出し!

PHOTO ART: 職場体験やマルシェでの写真を基に、フォトアートや写真講座に活用し!

木寺ゼミナールの強み

実施体制

プラン後の上郷

ふるさと菜園事業 一つづつにあなたのふるさとを—

事業背景: 家地区・谷田部地区のD/Aと現状

事業課題: つくばの新しい市民の現状

ふるさと菜園の仕組

認定する参加者

認定する協力農家

管理会社(国際研修)の役割

ふるさと菜園の特色

プランの地域貢献性

プランの実現性

プランの持続性

- R4年度から人材発掘事業として、市内外の参加者を募る取組みを開始

# 周辺市街地活性化事業への提言

- 令和3年度にも、他団体、地元子供会や学校との連携を促し、担い手づくりに力を入れることが必要
- 引き続き今年度の取組みを広げ、人材育成に力を入れていくこと
- 市内イベントや各地域のお祭りなどに多くの市民が交流、参加できる機会を設け、活性化につなげていくこと





# 空き家対策 補助事業に ついて



- つくば市空家バンクの登録物件を売買した場合に利用できる補助金（3件分/年）
- R2～R4年の申請件数が0～1件にとどまっている

→ 十分に活用されていないのが課題

種類	補助対象者	補助金額	申請件数（年度）		
			R2	R3	R4
改修工事費補助金	登録物件の購入者 （利用登録者）	改修工事費の50% （上限50万円）	0	0	1
家財処分費補助金	登録物件を売却した 所有者（登録者）	家財処分費の50% （上限10万円）	0	0	0

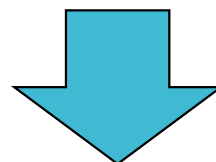
# 空き家対策 補助事業に ついて



- つくば市空家バンクの登録の有無に関係なく利用できる補助金（3件分/年）

※R3からスタート

→ 十分に活用されていないのが課題



国補助金の用途制限があることで、十分な活用ができていない

種類	補助対象者	補助金額	申請件数（年度）	
			R3	R4
空き家等を活用した地域交流拠点づくり支援補助金	地域団体等（区会、NPO法人等）	工事費の50%（上限50万円）	1	0

# 空き家対策 補助事業への 提言



- 市内の空き家の老朽化は年々進み、管理不全物件が増えていくことが予想される
- 空き家バンクの周知をとともに、補助金を活用した空き家対策を促進していく

